

冬がいっぱい・いたいみのことば、はんたいのいみのことば・おどろっこい

読み、いみ、文を声に出して読み、それからノートに書きましょう。

冬

読み とう  
いみ ふう  
冬をかんじるものを、カードに書きましょう。

冬 夕 冬

A 76 ページ

- ① 冬、カエルは、土の中でねむってすごす。
- ② 十一月、冬じたくがはじまった。
- ③ 冬休みにスキーに行く。
- ④ ま冬のさむさにふるえた。

ふう 冬じたく  
ふう やす 冬休み・ま冬

星

読み よみ  
いみ ほし  
うつくしい星空をながめる。

星 戸 星

A 80 ページ

- ① 星が、きらきら光っている。
- ② 天の川は、星のあつまりだ。
- ③ 姉は、星うらないがすきです。
- ④ ながれ星に、ねがいごとをする。

あま がわ 天の川  
な が れ 星 ぼし

少

読み しょう  
いみ すくない  
はんたいのいみのことばを考えましょう。

少 少年

A 81 ページ

- ① ぼくたちは、少年だ。
- ② ことは、雨が少ない。
- ③ お金が少したりない。
- ④ もう少しで、ちこくするところだった。

しょうねん 少年  
すく すこ 少ない・少し

走

読み そう  
いみ はしる  
つかれた人も、走るのががてな人も、すぐにはつかまらずに...

土 走 走

A 86 ページ

- ① 学校まで走った。
- ② 犬にほえられ、走ってにげた。
- ③ 五十メートル走で、一番になりたい。
- ④ 百メートルきょう走で、かった。

きょうそう 走

読み、いみ、文を声に出して読み、それからノートに書きましょう。

交

読み こう  
まじわる まじる  
まじえる まざる  
まぜる まじわる  
いみ

六 交 交

- 文① 交通じこに気をつける。
- ② えきまえに交番がある。
- ③ かん字とひらがなが交じっている。
- ④ ひろい道が交わっている。

「おにごっこくカンジューはかせが、みんなおじになっておいかけろ」といつ…。  
ま 交じっている・交わっている  
まじ  
こうつう 交通じこ・交番  
こうばん

遠足に行く前の、どきどきした気もちを書こう。

遠

読み えん  
とおい  
いみ とおい

キ 遠 遠

- 文① デパートまでは遠い。
- ② 遠くで花火があがった。
- ③ 遠足で公園へ行った。
- ④ ぼう遠きようで、月のかんさつをする。

えん 遠く  
えん 遠足  
えん ぼう遠きよう

ドッジボールで、強いボールがとれるようになった。

強

読み きよう・つよい  
つよまる (1)つよい  
つよめる (2)むりに  
つよめる させる  
いみ

コ 強 強

- 文① ぼくたちのチームは強い。
- ② 雨が強くなってきた。
- ③ 強力なサッカーチームができた。
- ④ かん字のべん強をした。

きよう 強力な  
きよう べん強

かん字の天才、カンジューはかせが、二つのかん字を合体させるきかいを…。

才

読み さい  
いみ (1)ちえ (2)とし

一 才 才

- 文① あの人は、絵の天才だ。
- ② 絵の才のうがあると言われた。
- ③ わたしは、八才になった。
- ④ 八才のたん生日、おめでとう。

てんさいさい 天才・才のう

カンジーはかせの大はつめい

読み、いみ、文を声に出して読み、それからノートに書きましょう。

門

読みもん  
いみもん

門 門 門 門

「門」というかん字と、「日」というかん字を入れます。

- 文 ① 校門は八時にひらく。  
 ② 正門前にあつまった。  
 ③ うら門のところまで、まってるね。  
 ④ 門番が二人いる。

こうもん せいもんまえ  
校門・正門前  
もん もんばん  
うら門・門番

弓

読みゆみ  
いみ(1)ゆみ  
いみ(2)ゆみのように  
まがったもの

弓 コ 弓

カンジーはかせは、二つのかん字でことばをつくる弓矢もはつめいしました。

- 文 ① おじいさんは、弓の名人だ。  
 ② 弓をひいて、けものをとる。  
 ③ バイオリンの弓を手にとってみた。  
 ④ 体が弓なりにそる。

ゆみ めいじん  
弓の名人

矢

読みや  
いみや

ノ 匕 矢

カンジーはかせは、二つのかん字でことばをつくる弓矢もはつめいしました。

- 文 ① リンゴのまん中に、矢があたる。  
 ② 弓と矢のセットで弓矢という。  
 ③ 矢じるしを書く。  
 ④ 矢じるしにそって、歩いた。

ゆみ や  
弓 矢  
や  
矢じるし

谷

読みたに  
いみたに(山と山のあいだのくぼんだところ)

ノ ハ 欠 谷

「谷」というかん字を、矢につけてとばします。

- 文 ① 谷にかかるとりばしをわたる。  
 ② 谷にそって、道がつづいた。  
 ③ 谷川の水はつめたかった。  
 ④ ダムができ、村は谷そこにしずんだ。

たに がわ  
谷川  
たに  
谷そこ

読み、いみ、文を声に出して読み、それからノートに書きましょう。

北

読み きた  
いみ きた  
中国の北の方、モンゴルには、広い草原が広がっています。

北

- 文① つめたい北風がふく。  
② 北国では、たくさんの雪がふる。  
③ 台風が北にむかっている。  
④ 公園は、学校の北東にある。

むかしから、ひつじや牛や馬などをかって、くらしていました。

牛

読み ぎゅう  
いみ ウシ  
うし

牛

- 文① 牛が、のんびり草をたべている。  
② 牛のちちしぼりをした。  
③ つめたい牛にゆうをのむ。  
④ ぼくは、牛肉がすきだ。

ぎゅう 牛にゆう  
ぎゅうにく 牛肉

引

読み ひん  
いみ ひく  
ひく ひける

引

- 文① 弟に、かみのけを引っぱられた。  
② つな引きでかった。  
③ 引き算はとくいです。  
④ サッカーのし合は、引き分けだった。

ひ つな引き・引き算  
ひ わいひ し合・引き分け

売

読み ばい  
いみ みる  
わたしは、けい馬にきたのです。馬を売りに来たわけではありません。  
うれる ものをうる

売

- 文① 大きなスイカを売っていた。  
② あの売店は、よく売れる。  
③ 『マッチ売りの少女』を読んだ。  
④ きょうは、ゲームのはつ売日だ。

ばいてん 売店  
はつ売日

41

スーホの白い馬・すてきなところをつたえよう

読み、いみ、文を声に出して読み、それからノートに書きましょう。

A 121 ページ

# 弱

文① 体が**弱い**。

② 風が**弱まった**。

③ ぼくは**弱虫**じゃないぞ！

④ 強いことと**弱い**ことを**強弱**という。

でも、白馬は、弱りはてていました。

読み

じゃく・よわい

よわる・よわまる

よわめる

いみ  
よわい

ゴ  
弓  
弱  
弱

よわむし  
弱虫

きょうじゃく  
強弱

A 129 ページ

# 計

文① **計算**もんだいはすきだ。

② **合計**が千円になる。

③ 学校につくまでの時間を**計る**。

④ ねつを**計**ったら、三十八どあった。

計算を教えてください。

読み

けい

はかる

はからう

いみ

(1)かぞえる

(2)はかる

言  
計

けいさん  
計算・合計

A 131 ページ

# 直

文① きみは、**正直**な人だね。

② **なか直り**ができてよかった。

③ **日直**なので、朝の会のしかいをした。

④ 先生に**直せつ**、手紙をわたす。

まちがいを直してから、手紙をわたしましょう。

読み

ちよく・じき

ただちに

なおす・なおる

いみ

(1)まっすぐな・なおす

(2)とうばん

(3)じかに

十  
直  
直

しやうじき  
正直・なか直り

にっちよく  
日直・直せつ